

2013 年日本薬剤師会学術大会 口頭発表 小郡中央店 小山武裕

そうごう薬局小郡中央店百枝、大刀洗店石井、総合メディカル株式会社水口、
久留米三井薬剤師会白木秀和、医療法人社団シマダ嶋田病院内科赤司朋之、西岡恵子、
薬剤部下田亮

糖尿病地域連携パスへの地域保健薬局の参画

～医薬・薬業連携ネットワークの構築と取り組みについて～

【目的】

福岡県小郡・大刀洗地域は、人口 7 万人に対して糖尿病専門医が 1 名の地域であるため、
増え続ける糖尿病患者の診療全てに専門医が携わることは困難であることから、「小郡循環
型糖尿病連携パス」(以下連携パス)が構築され、多くの診療所と病院間の情報共有を行って
いる。しかし糖尿病療養指導は薬だけでなく、食事や運動、眼科の受診勧奨など多岐に渡
る為、診療所だけではフォローが難しいという問題点があった。そこで今回、地域の保険
薬局も連携パスに積極的に貢献することを目的に、専門医・病院薬剤師・糖尿病連携専門
看護師(以下コーディネーター)と一丸となって、指導方針の共有を図り、医薬・薬業連
携を構築する取り組みを始めたので報告する。

【方法】

1. 「七夕薬業ネットワーク」の立ち上げ
薬剤師会、専門医、コーディネーターへ働きかけ、療養指導の理解と共有を図る定期
連絡会を立ち上げた。平成 24 年 7 月より開始し、隔月開催で実施。
2. 保険薬局の療養指導への取り組み
連携パスの病院-診療所間の申し送りに、患者を担当する薬局薬剤師が参加・コーデ
ィネーター作成の患者向けパンフレットを、地域薬局全体で患者に配布・診療所内
糖尿病教室に薬局薬剤師が講師として参加

【結果】

1. 定期連絡会には、地域の薬剤師会員 27 薬局のうち 70%(19 薬局)が参加し、毎回糖尿病専
門医の講義と症例検討会を実施し、専門医の指導内容を共有する機会を作ることができた。
2. 連携パス患者申し送りへの薬局薬剤師参加により、病院での患者情報・問題点を踏まえ
た上で療養指導を行う事例が得られた。
3. 「眼科受診のすすめ」などパンフレットを服薬
指導時に定期配布することで、参加薬局へのアンケートでも糖尿病への関心が高まり、療
養指導の機会向上などの効果が見られた。

【考察】

七夕薬業ネットワークは薬業連携・医薬連携の機会創出となっただけでなく、地域保険薬
局の糖尿病療養指導への関心を高めることとなり、地域全体で療養指導を行う基盤づくりに
貢献できると考える。また連携パスへの参加により薬局薬剤師を含めたチーム医療が形
成でき、新しい療養指導の形が提示できるのではないかと考える。

【キーワード】・地域連携パス・薬業連携・糖尿病・コーディネーター